

雄武町にある豊丘小学校は、海の近くにある小さな学校です。  
5年生と6年生の5人が環境を考える授業をすることになりました。

全員で「ゴミ問題を勉強しよう」と考えて学校の近くにある海岸を見に行くと、たくさんのおもいゴミが落ちていました。

道路上に落ちているゴミ拾いはした事がましたが、海のゴミがたくさんある事に、生徒たちはとても驚きました。

生徒の中には「ゴミを外に捨てる事」を悪いと思わない子もいました。

しかし、自分たちが住んでいる場所に捨てられたり、流れ着いたゴミを見て、考えが変わりました。ゴミがたくさんあると、どんな被害を受けるのか、たくさんじら調べました。

本当にたくさんゴミがあって、どれだけ拾つたらきれいになるのかと思いましたが、最後まで一生懸命に拾いました。

今回のゴミ問題を勉強した事で、生徒たちは「どうにかしたい！」と強く考えました。

まずは、自分たちが住む地区の人たちに、自分たちの気持ちを伝えたいとチラシを作りました。

また、時間があればゴミ拾いもやりたいと思います。

先生は「この勉強をして、生徒の考え方が大きく変わった」といました。

豊丘小学校は、来年学校が無くなります。

5年生、6年生は、最後にこの地区のために大きなお手伝いができました。